

表4 外用薬基剤の種類と特徴

基剤の種類		体系的な基剤		特徴
疎水性基剤	油脂性基剤	白色ワセリン, プラスチベース		創保護作用がある, 刺激性が少ない
親水性基剤	乳剤性基剤	水中油型 (O/W)	親水軟膏, バニシングクリーム	創保護作用が弱い, 浸透性が強い, 水洗いで除去可能
		油中水型 (W/O)	吸水軟膏, コールドクリーム	
	水溶性基剤	マクロゴール軟膏		吸水性が強い, 創面が乾燥しやすい

は創保護作用に優れ刺激性も少ないが、薬剤（主薬）の放出性は劣る。乳剤性基剤は水と油を界面活性剤で乳化したもので、クリーム基剤とも呼ばれ創保護作用は弱い。水の中に油が分散した水中油型基剤と油の中に水が分散した油中水型基剤の2種類があり、時に刺激性があるが主薬の浸透性は強い。水溶性基剤は吸水性が強く滲出液が多い創面に使用される。

一般的に創保護や保湿目的には油脂性基剤や油中水型基剤を選択することが多い。創に水分を補給する場合は水中油型基剤を選択し、滲出液を吸収したい場合は水溶性基剤を使用することが多い。

薬剤の選択

ドレッシング材の選択と同様に、創部の正確な評価に基づき薬剤の選択を行う。

浅い創傷や肉芽が増生している創傷

油脂性軟膏基剤をベースとした抗菌外用剤、肉芽形成促進薬などを使用する。肉芽形成促進薬はプロスタンディン[®]軟膏（油脂性基剤）、アクトシン[®]軟膏（水溶性基剤）、オルセノン[®]軟膏（乳剤性基剤）あるいはフィブラスト[®]ス

プレーなど多くの薬剤が含まれ、創部の状態や滲出液の量により選択する。

感染創

抗菌外用剤、ヨウ素やイソジンを含んだ軟膏あるいはゲーベン[®]クリーム（スルファジアジン銀）などを使用する。ヨウ素やイソジンを含んだ軟膏はユーバスタ[®]、カデックス[®]軟膏あるいはヨードコート[®]などが含まれる。ヨウ素が徐々に放出され、持続的な殺菌作用があり、過剰な滲出液を吸収する。

壊死組織がある創傷

蛋白分解酵素を含んだプロメライン軟膏[®]あるいは水中油型基剤をベースとしたゲーベン[®]クリームなどを使用することが多い。ゲーベン[®]クリームは水分を多く含み、銀による抗菌作用もあり深部まで浸透し、壊死組織を軟化し自己融解させる。局所刺激性や大量使用した場合には、血中の白血球減少などの副作用がある。

主な薬剤

抗菌外用剤

抗菌外用剤の多くが油脂性基剤であり、主薬の創部への薬理作用を望むより、基剤による創

面保護や湿潤環境維持を目的に使用することが多い。

浅い創傷や擦過傷に対して使用され、1本の容量が少量で、自宅での処置用など利便性が高い。しかし、感染のない創傷や、感受性試験を行っていない感染創への使用は耐性菌を発生させるので、安易な使用は避けるべきという意見も多い。

ステロイド軟膏

局所の抗炎症作用や血管収縮作用があり、I度やII度熱傷、炎症が強い創傷あるいは過剰な肉芽組織が増殖している創部に使用される。

長期間の使用で、細菌や真菌感染症を生じる

ことがあり、長期間の使用は行うべきでない。
フィブラスト®スプレー〔トラフェルミン(遺伝子組み換え)〕

世界で始めて増殖因子を主剤とする外用薬で、新しいタイプの薬剤である。遺伝子組み換え技術により産生された「ヒト組み換え塩基性線維芽細胞増殖因子」(basic fibroblast growth factor: bFGF)を主成分とする外用液剤である。強力な血管新生作用、肉芽再生作用およびケラチノサイト増殖作用などを有する。今まで手術適応となった深達性II度熱傷が本剤を使用することにより保存的に治癒できるようになり、生じた瘢痕の質もやわらかく、予後も良好である³⁾。

引用・参考文献

- 1) Winter GD. Formation of the scab and the rate of epithelization of superficial wounds in the skin of the young domestic pig. *Nature*. 1962, 193 (4813), 293-4.
- 2) 日本褥瘡学会. 科学的根拠に基づく褥瘡局所治療ガイドライン. 東京, 照林社, 2005, 24, 27-30.
- 3) Akita S, et al. A basic fibroblast growth factor improved the quality of skin grafting in burn patients. *Burns*. 2005, (7) 855-8.

メディカの本

エマージェンシー・ケア2007年新春増刊

災害医療

救急医・救急看護師・救急救命士のための災害マニュアル

東洋医療専門学校校長 太田 宗夫 編集

災害の被害を最小限にいとめるには、医療従事者が災害の正しい知識を持つことが不可欠である。本増刊では、災害医療の基礎知識から実践に備える災害医療シミュレーションまで、最新の情報を盛り込んで詳細に解説する。

<内容>災害医療総論/災害サイクル/災害医学について/災害への準備/わが国の災害医療体制/災害医療の評価/災害医療シミュレーション/災害発生時における医療スタッフの必須技術 ほか

●B5判 ●260頁 ●定価4,200円(本体4,000円+税) ISBN978-4-8404-1843-0

MC メディカ出版

www.medica.co.jp

お客様センター ☎ 0120-27-6591 または 06-6385-9696 FAX 06-6385-6721

本社 〒564-8580 大阪府吹田市広芝町18-24